

## 第2章 世界規模で見る国際会議の動向

	本章で使用する「UIA 国際会議統計」について	16 頁
1	大陸別 国際会議の開催状況	17 頁
2	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	18 頁
3	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	19 頁
4	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	20 頁
5	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	21 頁

	本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について	22 頁
6	大陸別 国際会議の開催状況	23 頁
7	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	24 頁
8	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	25 頁
9	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	26 頁
10	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	27 頁

## 本章で使用する「UIA 国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

### 【UIA 国際会議統計の選定基準】

UIA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が UIA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 国際機関・国際団体（UIA に登録されている機関・団体）の本部が主催又は後援した会議
- ① 参加国数 開催国を含む3ヶ国以上
  - ② 開催期間 1日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIA が判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1) に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

- (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議
- ① 参加者数 300 名以上（うち 40%以上が主催国以外の参加者）
  - ② 参加国数 開催国を含む5ヶ国以上
  - ③ 開催期間 3日以上

UIAでは、当該年の国際会議統計の発表後も、随時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」としてとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIAが各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

### UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIA は、1907 年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年6月に発表している。

1

大陸別 国際会議の開催状況

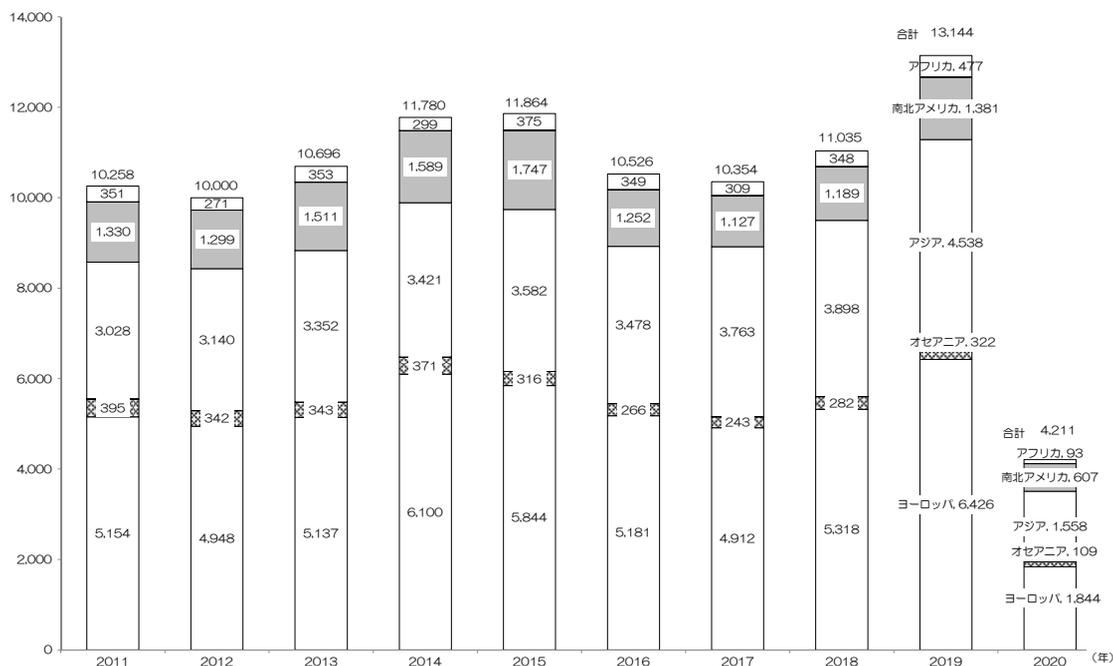
ー 開催件数は世界全体で前年比約7割減 ー

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2020年の国際会議開催件数は前年比約7割減の4,211件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1位ヨーロッパ(1,844件、43.8%)、2位アジア(1,558件、37.0%)、

3位南北アメリカ(607件、14.4%)、4位オセアニア(109件、2.6%)、5位アフリカ(93件、2.2%)の順で、各大陸ともCOVID-19の影響で開催件数が大きく減少した。

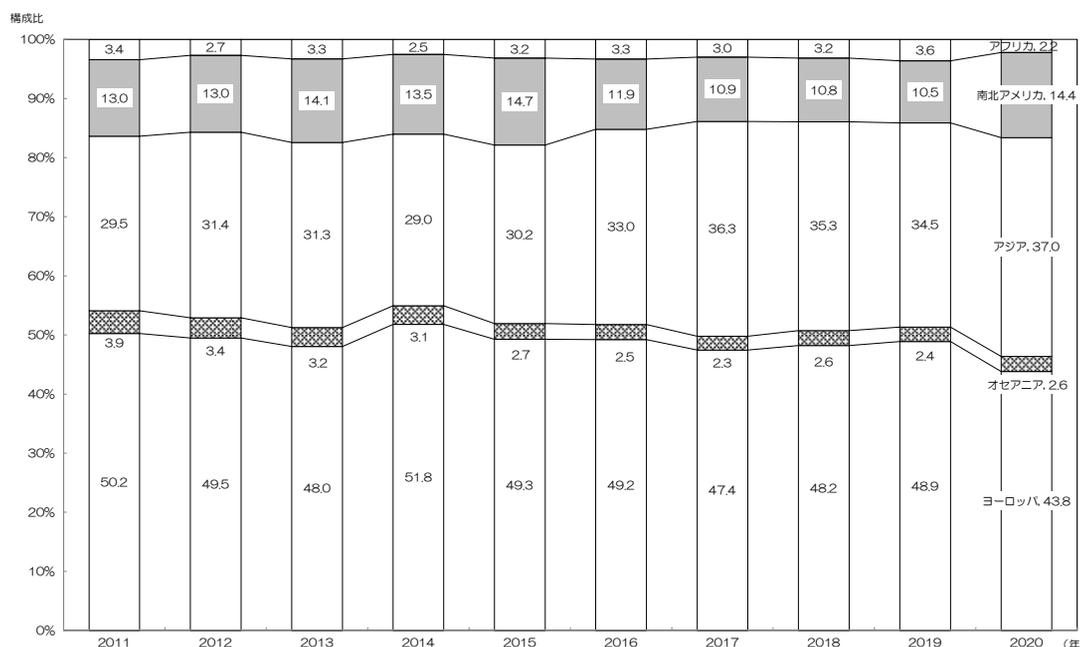
図表2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2011年~2020年)



注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」及びUIAの地域別区分に基づきJNTOが算出した。  
 注：図表2-1の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。  
 注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

図表2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2011年~2020年)



注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」及びUIAの地域別区分に基づきJNTOが算出した。  
 注：図表2-2の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。  
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 2

## 国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

- COVID-19 影響下でも、日本は世界第5位を堅持 -

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2020 年の国際会議開催件数(上位 30 位)を国・地域別で見ると、1 位シンガポール(780 件)、2 位アメリカ(438 件)、3 位ベルギー(338 件)、4 位韓国(256 件)、5 位日本(225

件)と続き、欧米豪が7割近くを占める中、日本は昨年と同様 5 位となった。また、日本は韓国との差を大幅に縮めた。

図表 2-3 国・地域別 国際会議の開催件数(世界全体)(2011 年~2020 年)〈2020 年上位 30 位を抜粋〉

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
シンガポール	919	952	994	850	736	888	877	1,238	1,205	780
アメリカ	744	658	799	858	929	702	575	616	750	438
ベルギー	533	597	505	851	737	953	810	857	1,094	338
韓国	469	563	635	636	891	997	1,297	890	1,113	256
日本	598	731	588	625	634	523	523	597	719	225
イギリス	293	272	349	355	354	266	307	333	418	186
ドイツ	421	373	428	439	472	390	374	305	418	162
フランス	557	494	408	561	590	523	422	465	665	141
スイス	219	166	216	328	258	234	228	210	249	137
オーストリア	390	458	398	539	383	404	591	488	417	135
オランダ	299	177	282	350	340	332	218	286	316	103
スペイン	386	449	505	513	480	423	440	456	531	96
オーストラリア	329	287	283	287	253	197	183	222	247	86
カナダ	186	228	213	228	285	165	242	262	265	73
イタリア	269	262	294	330	385	183	163	236	268	62
スウェーデン	161	165	118	189	129	152	152	165	201	50
ポルトガル	160	142	136	150	204	189	181	187	258	49
アラブ首長国連邦	103	84	99	153	157	185	197	170	180	48
フィンランド	159	160	164	169	156	166	151	174	314	43
デンマーク	126	175	98	142	151	134	154	147	133	40
中国(香港、マカオ除く)	200	155	210	193	144	131	108	132	193	39
ノルウェー	169	164	172	149	164	135	132	191	243	36
タイ	126	89	84	280	300	279	312	185	345	32
ポーランド	114	63	118	94	119	81	52	80	103	30
チェコ	65	67	96	79	89	56	60	135	81	28
南アフリカ共和国	91	78	114	104	111	134	80	64	101	26
ギリシャ	70	64	84	79	82	58	44	67	89	26
インド	103	90	87	79	88	72	71	80	87	24
アイルランド	-	-	-	-	-	-	-	60	59	21
トルコ	-	-	-	-	-	-	-	30	44	20
フィリピン	-	-	-	-	-	-	-	59	64	20
台湾	-	-	-	-	-	-	-	32	55	20

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 3

## 国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は第3位で2位へ迫る —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2020年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1位シンガポール(780件)、2位韓国(256件)、3位日本(225件)の順となり、日本は2位との

差を31件に縮め韓国に迫った。COVID-19の影響で大幅に開催件数を減らす中、特に、タイとインドネシアの落ち込みが大きい。

図表2-4 国・地域別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2011年~2020年)〈2020年開催件数10件以上を抜粋〉

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
シンガポール	919	952	994	850	736	888	877	1,238	1,205	780
韓国	469	563	635	636	891	997	1,297	890	1,113	256
日本	598	731	588	625	634	523	523	597	719	225
オーストラリア	329	287	283	287	253	197	183	222	247	86
アラブ首長国連邦	-	-	-	-	-	-	-	170	180	48
中国(香港、マカオ除く)	200	155	210	193	144	131	108	132	193	39
タイ	126	89	84	280	300	279	312	185	345	32
インド	103	90	87	79	88	72	71	80	87	24
フィリピン	39	24	44	34	49	26	34	59	64	20
台湾	54	44	58	57	43	32	30	32	55	20
マレーシア	125	141	137	103	204	98	90	172	86	18
サウジアラビア	-	-	-	-	-	-	-	10	13	18
ニュージーランド	37	34	32	55	35	47	37	39	54	16
インドネシア	53	47	85	61	71	54	40	70	104	11
香港	46	62	112	41	49	67	39	38	42	10

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及びUIAの地域別区分を採用した。  
 注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。  
 注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

## 4

## 都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

ー 開催件数は6割減でも東京が4位に浮上 ー

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2020 年の国際会議開催件数を都市別で昨年と比較して見ると、COVID-19 の影響で大幅に件数を減らしたが、上位の都市名はほぼ同じであった。他方、昨年トップ 10 から大きく順位

を下げたのは、バンコク、マドリード、リスボンとなった。東京は開催件数が6割減の 122 件であったが、4位となり2ランクアップとなった。

図表 2-5 都市別 国際会議の開催件数 (世界全体) (2011 年~2020 年) (2020 年上位 30 位を抜粋)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
シンガポール	919	952	994	850	736	888	877	1238	1205	780
ブリュッセル	464	547	436	787	665	906	763	734	963	290
ソウル	232	253	242	249	494	526	688	439	609	150
東京	153	225	228	228	249	225	269	325	305	122
ウィーン	286	326	318	396	308	304	515	404	325	109
ロンドン	105	119	144	125	126	98	166	186	217	101
ジュネーブ	121	90	126	173	172	162	158	145	173	77
パリ	336	276	180	325	362	342	268	260	405	61
バルセロナ	150	150	195	193	187	182	193	152	160	44
ベルリン	149	89	89	167	215	197	198	131	192	43
モントリオール	60	77	82	74	108	71	146	106	127	41
アムステルダム	118	60	114	167	125	155	98	98	123	39
ワシントン D.C.	59	41	46	62	66	81	62	39	60	37
ドバイ	74	67	75	136	128	158	120	111	84	30
ニューヨーク	49	40	52	77	75	68	57	57	79	30
ストックホルム	109	113	48	112	87	112	113	119	137	28
シドニー	103	103	124	120	107	72	76	109	103	26
プラハ	54	62	80	65	74	55	54	131	74	26
釜山	82	50	148	132	150	152	212	131	160	25
コペンハーゲン	105	150	65	120	117	111	131	130	112	25
ヘルシンキ	70	102	84	102	90	121	108	128	187	24
バンコク	88	65	55	189	242	211	232	121	293	22
マドリード	116	149	165	200	140	159	159	201	215	22
ピスカタウェイ	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
ミュンヘン	-	-	-	-	-	-	-	29	30	21
アテネ	-	-	-	-	-	-	-	45	56	21
ロッテルダム	-	-	-	-	-	-	-	43	44	21
リスボン	96	93	72	106	147	142	135	146	204	20
リヨン	48	61	55	50	52	46	65	52	64	18
ダブリン	-	-	-	-	-	-	-	47	53	18

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 5

## 都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

ー 日本は北九州も加わり 7 都市がランクイン ー

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2020 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、1 位シンガポール (780 件)、2 位ソウル (150 件)、3 位東京 (122 件) で昨年と同じ順であった。

日本の都市では、東京 (122 件)、京都 (16 件)、名古屋 (11 件)、横浜 (9 件)、大阪及び神戸 (各 6 件) に加え、新たに北九州 (7 件) が加わり、計 7 都市が 30 位以内に入った。

図表 2-6 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2011 年~2020 年) (2020 年上位 30 位を抜粋)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
シンガポール	919	952	994	850	736	888	877	1238	1,205	780
ソウル	232	253	242	249	494	526	688	439	609	150
東京	153	225	228	228	249	225	269	325	305	122
ドバイ	-	-	-	-	-	-	-	111	84	30
シドニー	103	103	124	120	107	72	76	109	103	26
釜山	82	50	148	132	150	152	212	131	160	25
バンコク	88	65	55	189	242	211	232	121	293	22
済州島	68	78	82	85	112	116	139	76	96	17
アブダビ	-	-	-	-	-	-	-	56	92	17
京都	48	84	52	56	56	53	36	58	81	16
メルボルン	99	75	73	62	46	36	31	31	42	16
仁川	24	25	25	30	19	53	66	70	56	14
クアラルンプール	70	88	84	50	140	60	54	96	50	14
マニラ	24	15	22	21	35	15	23	38	35	14
リヤド	-	-	-	-	-	-	-	4	6	14
名古屋	32	26	24	28	22	14	14	16	25	11
台北	38	36	39	38	35	25	21	22	41	11
北京	90	80	66	73	42	56	30	45	45	10
横浜	84	80	51	50	31	36	32	28	31	9
アテレード	-	-	-	-	-	-	-	12	17	9
デリー	36	37	30	22	30	26	28	30	23	9
上海	33	18	57	28	26	27	16	23	41	8
浦項	-	-	-	-	-	-	-	19	22	8
北九州	-	-	-	-	-	-	-	9	13	7
香港	45	62	112	41	49	67	39	38	42	7
大田	10	30	27	30	28	15	27	14	42	7
ジャカルタ	11	10	14	16	21	8	13	25	39	7
オークランド	18	11	17	34	21	25	20	25	26	7
イスラマバード	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7
大阪	-	-	-	-	-	-	-	13	25	6
神戸	28	38	22	25	35	18	7	21	24	6
パース	-	-	-	-	-	-	-	10	18	6

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及び UIA の地域別区分を採用した。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

### 【ICCA 国際会議統計の選定基準】

ICCA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が ICCA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50 名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1 回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3 カ国以上で会議のローテーションがある  
(2 カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、随時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。本節では、2020 年作成時における暫定値を掲載しています。

### ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCA は、1963 年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。約 100 カ国の 1,000 以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

6

大陸別 国際会議の開催状況

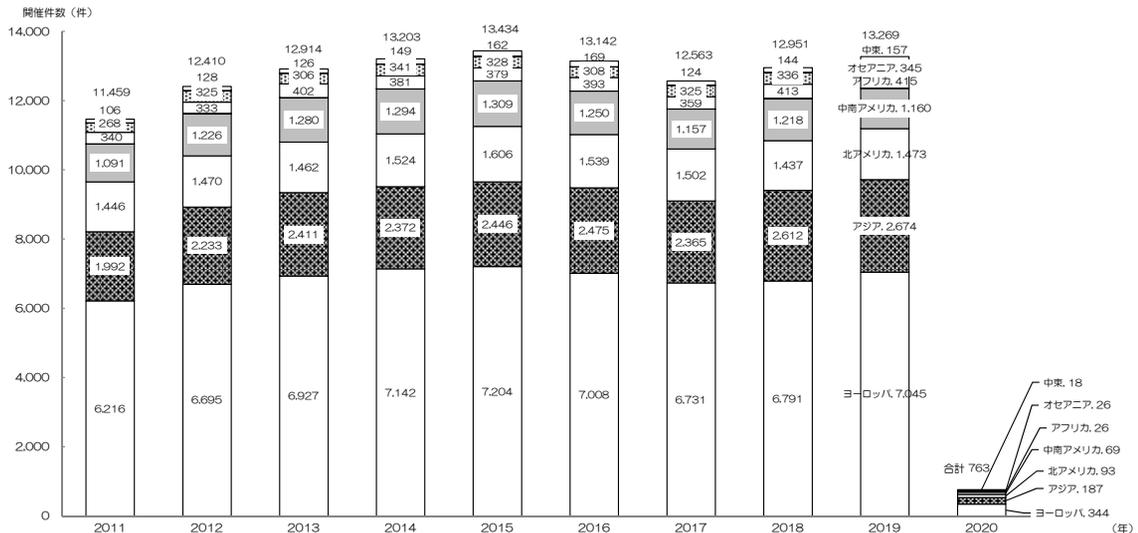
—世界的なパンデミックにより激減—

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2020 年の国際会議開催件数（通常開催）は前年比 94.3%減の 763 件であった。COVID-19（新型コロナウイルス感染症）が世界的に拡大した結果、「影響なし」が概ね 1 割程度とな

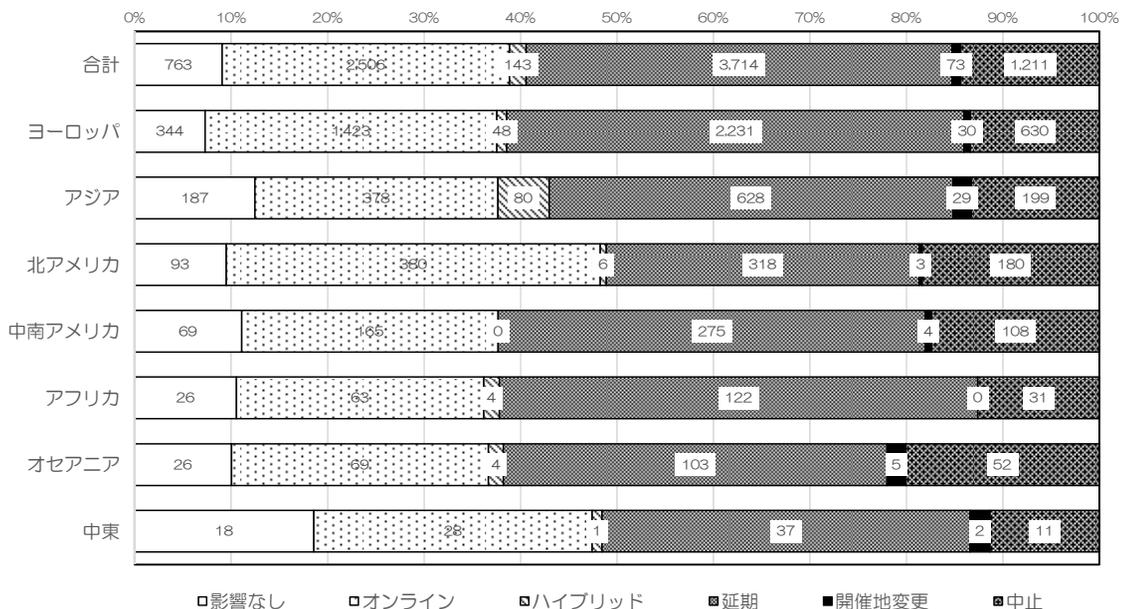
った他、「オンライン」が 2,506 件（29.8%）、「延期」が 3,714 件（44.2%）、「中止」が 1,211 件（14.4%）で、大陸別でも概ね同様の結果であった。

図表 2-7 大陸別 国際会議の開催件数（2011 年～2020 年）



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」、ICCA Statistics Report (2020)」  
 注：図表 2-7 の「アジア」には、ICCA の地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。  
 注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。  
 ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

図表 2-8 大陸別 国際会議の開催状況（2020 年）



出典：「ICCA Statistics Report (2020)」  
 注：図表 2-8 の「アジア」には、ICCA の地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。  
 注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。  
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも 100 にならない。  
 ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 7

## 国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— 「影響なし」は1割未満 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2020年の国際会議開催状況を国・地域別(2019年の上位10位)で見ると、いずれも「延期」と「オンライン」が最も多く、次いで「中止」となっている。その結果、COVID-19の影響なく開催できた件数は、いずれも1割未満となった。

日本も同様の傾向を示し、「オンライン」開催(97件)増加の他、「ハイブリッド」(12件)が上位10位の中で最も多くなった。中でもアメリカでは、「オンライン」が最多の262件となり「延期」(178件)を唯一上回った。

図表2-9 国・地域別 国際会議の開催状況(世界全体)(2020年)〈2019年上位10位を抜粋〉

	2019年	2020年の開催状況						
	開催件数	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
アメリカ	934	618	52	262	4	178	3	119
ドイツ	714	427	34	143	7	168	4	71
フランス	595	322	20	104	4	160	2	32
スペイン	578	426	33	129	2	190	4	68
イギリス	567	389	16	123	0	199	0	51
イタリア	550	336	23	110	5	167	3	28
中国(香港、マカオ除く)	539	215	17	50	9	95	6	38
日本	527	309	30	97	12	126	5	39
オランダ	356	249	19	91	1	99	1	38
ポルトガル	342	225	15	66	1	116	2	25

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、 「ICCA Statistics Report (2020)」

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 8

## 国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

- 「オンライン」は日本が最多 -

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2020 年の国際会議開催状況をアジア・オセアニア域内の国・地域別 (2019 年の上位 10 位) で見ると、いずれも「延期」が最も多く、COVID-19 の影響なく開催できたのは 2 割以下となった。

その他、「中止」を除くと「オンライン」や「ハイブリッド」化が進み、日本は「オンライン」件数 (97 件) が最多となり、他方、「ハイブリッド」では韓国 (24 件)、台湾 (16 件)、日本 (12 件) の順となった。

図表 2-10 国・地域別 国際会議の開催状況 (アジア・オセアニア域内) (2020 年) (2019 年上位 10 位を抜粋)

	2019年	2020年の開催状況						
	開催件数	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
中国 (香港、マカオ除く)	539	215	17	50	9	95	6	38
日本	527	309	30	97	12	126	5	39
オーストラリア	272	194	19	54	3	78	5	35
韓国	248	223	32	54	24	86	7	20
台湾	163	90	14	10	16	40	1	9
タイ	162	111	23	27	7	44	1	9
インド	158	91	17	26	2	38	1	7
シンガポール	149	105	6	27	2	44	2	24
マレーシア	137	87	18	15	2	40	1	11
インドネシア	95	44	5	8	1	28	0	2

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、 「ICCA Statistics Report (2020)」

注：図表 2-10 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 9

## 都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— オンライン化が進展 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2020 年の国際会議開催状況を都市別（2019 年の上位 10 位）で見ると、各都市とも「延期」と「オンライン」が最も多く大半を占め、中止になった件数も多く、COVID-19 の影響な

く開催できた件数は、いずれも 1 割未満となった。東京も同じ傾向を示し、「延期」（29 件）、「オンライン」（13 件）、「中止」（6 件）、「影響なし」（4 件）となった。

図表 2-11 都市別 国際会議の開催状況（世界全体）（2020 年）〈2019 年上位 10 位を抜粋〉

	2019年	2020年の開催状況						
	開催件数	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
パリ	237	94	4	41	1	40	0	8
リスボン	190	109	7	36	0	55	2	9
ベルリン	176	115	10	43	3	35	1	23
バルセロナ	156	121	11	44	0	46	3	17
マドリード	154	100	7	27	2	41	0	23
ウィーン	149	121	10	49	2	41	0	19
シンガポール	148	105	6	27	2	44	2	24
ロンドン	143	98	5	40	0	40	0	13
プラハ	138	92	9	22	1	55	0	5
東京	131	53	4	13	1	29	0	6

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

## 10

## 都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）

— 各都市とも「延期」が最多 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2020年の国際会議開催状況をアジア・オセアニア域内の都市別（2019年の上位10位）で見ると、いずれも「延期」が最も多く、COVID-19の影響なく開催できた件数は大幅に減少した。それ以外は都市により異なるが、オンラインやハイブリッド

化が導入され、「オンライン」ではソウル（35件）が最も多く、「ハイブリッド」では台北（12件）が最も多くなった。東京は「延期」（29件）に次いで「オンライン」（13件）が続いた。

図表 2-12 都市別 国際会議の開催状況（アジア・オセアニア域内）（2020年）〈2019年上位10位を抜粋〉

	2019年	2020年の開催状況						
	開催件数	合計	影響なし	オンライン	ハイブリッド	延期	開催地変更	中止
シンガポール	148	105	6	27	2	44	2	24
東京	131	53	4	13	1	29	0	6
バンコク	124	72	16	17	3	30	0	6
ソウル	114	113	14	35	10	40	5	9
台北	101	62	8	6	12	29	0	7
シドニー	93	54	6	18	0	19	1	10
香港	91	55	4	16	1	19	3	12
北京	91	44	4	7	0	19	2	12
クアラルンプール	91	53	13	7	1	22	1	9
上海	87	53	4	12	0	24	2	11

出典：「ICCA Statistics Report (2019)」、「ICCA Statistics Report (2020)」

注：図表 2-12 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成